石川県高体連テニス専門部

北信越地区予選大会開催における新型コロナウイルス感染症対策について

１．健康観察について

① 生徒・職員ともに「大会当日健康チェック表」を記入する。

② 引率教員は、大会受付時に「大会当日健康チェック表」を全生徒・職員分を本部へ提出する。主管は、1か月間保管する。

③ 体温が 37.5℃以上または新型コロナウィルス感染が疑われる症状がある場合は会場に来させない。

④ 微熱 37.0～37.4℃の場合は、引率教員が定期的に（3時間に1回程度）検温する。37.5℃以上になった場合は、保護者に連絡するなど適切な対応をとる。（本部に非接触型体温計を準備する。）

⑤ 大会中に体調を崩す生徒がでた場合は、引率教員が検温し、本部へ報告する。

⑥ 参加者から新型コロナウィルス感染者が出た場合の対策方針について、地区代表は、あらかじめ施設の立地する自治体の衛生部局と検討しておく。また地区の医療機関に大会開催を連絡しておく。

⑦ 保護者は、「大会当日健康チェック表」を受付時に記入する。

２．会場に来る方法・人数

① 試合会場には、大会運営関係者、出場選手、応援の部員・保護者、引率顧問が入場する。

② 会場への移動は密となる状況を避けるよう配慮する。

③ 乗用車や借り上げバスを利用した場合は、アルコールによる拭き掃除など、消毒を徹底する。

３．待機場所での予防

① 待機中はマスクを着用し、生徒どうしの間を1～2m程度あけるようにする。ただし、マスク着用によって熱中症のリスクが高くなることもあるので、息苦しさを感じた場合は、マスクを外すなど、無理をさせないよう配慮する。

② こまめな手洗いを呼びかける。特に昼食前には、徹底する。

③ 飲食時は、1～2mの間隔をとり、対面は避け、会話を控えめにする。

④ 飲み物は、まわし飲みをしないよう徹底する。食べ物の授受は避ける。

⑤ ゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、各自持ち帰りを徹底する。

⑥ 主管は、本部に消毒液を用意する。また出入り口、トイレ、水飲み場などにも消毒液を用意する。あらかじめ、大会施設責任者に確認しておく。

⑦ 本部役員、または引率教員は、会場を定期的に巡回し、ソーシャルディスタンスの徹底、手すりやトイレなどのドアノブなど、複数の人が接触する場所の消毒を行う。

⑧　荒天時に、退避する場合は、待機場所にて可能な限り均等に間隔をあけ、会話や接触を控える。

４．試合・運営時の予防

①　選手、審判、ボールパーソンは、マスクを着用して入場し、トス終了後にマスクを外し、ゲーム終了後に着用する。

②　試合終了時の握手はしない。挨拶のみ行う。

③　応援は拍手のみとし、円陣やハイタッチなどの接触行為、声を出しての応援は禁止する。

④　タオルや飲み物の共有はしない。

⑤　ペアとベンチに座る際も、間隔をあける。

⑥　選手、審判、ボールパーソンは、試合終了後、手洗いを徹底する。

⑦　大会オフィシャルボードや試合グッズは広く換気がよい場所に設置し、密集をさける配慮をする。

⑧　本部内も 1～2m の間隔をとり、換気を保つ。交代要員などはできる限り本部外に待機させ、本部内の人数を減らすよう配慮する。

⑨　受付の机、審判グッズなどは、こまめに拭いて消毒する

⑩　開会や閉会のセレモニーは可能な限り簡素化する。

⑪　これらの注意事項をプログラムに記載し、会場内でも掲示する。

５．大会参加にあたり

①　以下の場合は大会への参加を辞退するものとする。

・保健所や医療機関から、感染者または濃厚接触者であると判定され、療養や自宅待機の指示を受けている場合

・感染者であるか否か、濃厚接触者であるか否かについて、保健所保健所や医療機関による判定を待っている場合

・学校が、感染拡大防止または感染状況確認のために、休校や学年閉鎖・学級閉鎖・部活動閉鎖、一部の集団・個人への登校禁止等の措置を取っており、当該選手が自宅待機等の指示を受けている場合

②　期間中に選手の感染が確認された場合は、①に従い当該選手は参加を辞退するものとする。